

もっと知りたい

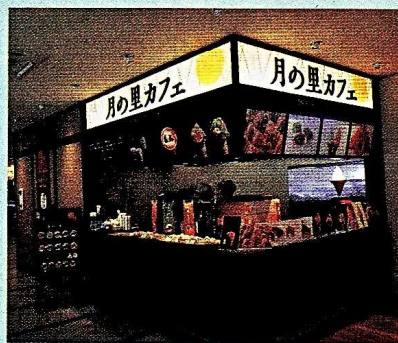
ふるさと

39

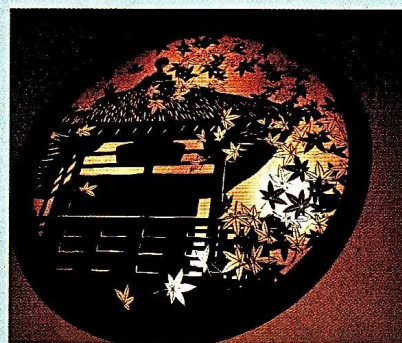
県下初のドラマチックエリア 新「姨捨サービスエリア」

善光寺平を一望でき、夜景の名所として秘かな人気がある姨捨サービスエリア（以下SA）。このSAがリニューアルし、一層魅力を増したというリニューアルを耳にしたので早速体験しに行ってみました。

今回のリニューアルは、ネクスコ東日本が展開する地域の特徴をいかしたSA・PA（パーキングエリア）作りによるものです。上り線が「文化宿るおもてなし」の里おぼすて」をコンセプトに「ド



おやきや杏ソフトなど名物が食べられます



切り絵をあしらった休憩コーナーの照明

ラマチック姨捨」として新しくなりました。

まず目に入る建物の外観は、黒と茶を基調としています。

バリアフリーに配慮された階段は曲線で構成され、柵田や千曲川の流れを連想させます。

リニューアルされた姨捨サービスエリア

入り口の左右には「月の里おぼすて」の赤と紺の大きな暖簾がかり、今までのSAのイメージを一新する、和風モダンな洗練された雰囲気になっています。

「信州旅見世」です。サービスエリアにありがちな商品が所狭しと並べられた光景とは異なり、ゆつたりと品良く並んでいる様は、高級店を連想させます。品物を見ると地元の特産品や県内産のものが殆どで、厳選された品揃えに、とても好感をもちました。

「旅見世」の隣にはテイクアウトの店「月の里カフェ」。地元産の小麦ユメセイキを使っておやき・そばクレープ・杏ソフトなどが売られています。これらを食べることが出来る囲炉裏をイメージした休憩席にも工夫の跡が見られます。

奥にはフードコート「おぼすて月見茶寮」があります。メニューには本格的な手打ちそば、地元の味噌を使ったラーメン、杏を上手に生かしたカレー等が並びます。私たちも食べてみましたが、手頃な値段以上の美味しさで、とても満足しました。

お腹も満たされ、窓外の陽光に誘われ外に出ると、まだ雪を被った飯綱山、人々が暮らす大地を曲がりくねって流れる千曲川が、春の陽射しにまぶしく光っていました。

ここが高速道路を利用している人たちの休憩施設に留まらず、食事を楽しんだり、土産の買い物等に訪れるスポットに発展し、古い歴史と文化的にも奥深い里「信州姨捨ここにあり」と発信し続けるサービスエリアになって欲しいと思います。

皆さんも姨捨SAに出かけてみませんか。

館報編集委員（八幡）

吉池、啓子
須田多恵子

